

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ 『イマジン ロータリー』
第2570地区ガバナー 村田 貴紀 『地域と世界でつながる力を磨き
奉仕を実践しよう!』



会長方針 石原 勇介 『繋げよう仲間の絆 広げよう奉仕の和』

会長 石原 勇介 副会長 岡野 元昭 幹事 高橋 遼太

追悼 吉原良一会員を偲んで



吉原良一会員(1946. 5. 10生 享年76歳)の足跡

ご逝去：2022年12月17日

ご入会：1989年11月9日 ロータリー歴 33年



2005-06年度 クラブ会長就任
「好意と友情の“わ”を拡げよう」
R財団寄付金 4,800ドル
米山奨学寄付金 900,000円
ネパール奨学支援・災害見舞
義援金 等 率先してご協力頂
きました

吉原会員あまりにも突然のことで言葉も出ません
改めて多くの事を教えて下さった大事な方でした

2022-23年度 会長 石原 勇介

吉原良一様のご霊前に謹んでお別れの言葉を捧げます。吉原さんの突然の訃報を聞いて、私たちは大きな悲しみを感じました。

吉原さんはどのような事業にも果敢に挑戦し、新座ロータリークラブと我々会員全員を導き常に励ましてくれる大変大きな存在であり偉大なリーダーであられました。クラブでの課題や問題の解決にも積極的に意見を述べられ行動を頂いておりました。そして卓越した能力だけでなく優しい人柄でも人望を集め吉原さんの周りにはいつも会員皆の笑顔がいっぱいでした。誰もが吉原さんのような存在になりたいと思っている事でしょう。

いつぞやの会員卓話を頂いたときに特に印象に残った言葉があります。「様々な場面で岐路の選択を迫られた時は、平坦な道を選ばずより困難な道を選択して来ました」というお言葉でした。何事にも恐れず率先した行動力は皆の規範であり理想的なリーダー像であったと思います。

私たちは吉原さんの残して下さった教えや思いを胸に、これからも日々のロータリー活動に活かしていきます。今まで本当にありがとうございました。吉原さんのご冥福を祈り、お別れの言葉といたします。

2003-04年度 会長 岡本比呂志

去る令和4年12月17日、当クラブの会員である吉原良一さん（株式会社東上セレモサービス取締役会長）が永眠されました。

ここに謹んでお悔やみを申し上げます。

吉原良一さんは稀有な方でした。その人となり一言で表わせば「とても豪快でかつ繊細な面」も併せ持ち、何よりも「ユーモアに溢れた楽しいお方」でした。

私より5歳年上であり、ロータリークラブへの入会も4年先輩という間柄でした。これまでに多くのことを学ばせて頂きました。1993年、私が42歳で新座クラブに入会したばかりの頃、吉原さんから「ロータリーは入会したらお客さんではなくて、自分から進んで活動するところですよ」と声を掛けられた言葉が今も記憶に残っています。「奉仕の精神」と言われるよりも、むしろ「なるほど」と腑に落ちました。

吉原さんはクラブで何回も卓話をされました。5分程度ロータリーの話を目にしましたあとで、自分の会社や仕事の話をしてくださいました。冠婚葬祭業という業界の特性はどのようなものなのか、経営する会社はどのくらいの業績を上げていて業界でどのようなポジションにいるのかなど。また日本が急速に少子高齢化を迎える中で、これからは結婚式場ベルセゾンの経営にとどまらず、東武東上線沿線の主要な駅に拠点を拡大して冠婚葬祭業の事業を大きく発展させていくというビジョンを力説されていました。その後ビジョンを見事に実現され、愛娘（吉原礼子さん）に社長を譲り、社業は順調に発展しているとお聞きしています。

吉原さんが3年前に突然倒れられてからのことを思うと今でも辛く悲しい気持ちになります。お目にかかることが出来ればいいのになあとずうっと思っておりましたが、遂に叶いませんでした。吉原さん、沢山の楽しい思い出をありがとうございました。ご冥福を心よりお祈りいたします。

合掌

<http://www.niiza-rc.jp>

2017-18年度卓話「私の座右の銘」吉原 良一



座右の銘とは常に自分の心にとめておいて、戒めや励ましとする格言ですが、私の数十年來の座右の銘は次の二つです。

一つは、稲盛和夫氏の「人生の方程式」です。

人生の結果＝能力×熱意×考え方

能力と熱意は0から100まで、考え方はマイナス100からプラス100まで。

しかもこの方程式は掛け算で有ることです。人生はその人の考え方でどの様にでも変わってくる。従って自身の考え方のチェックを常に怠らないことが肝要だと思います。

二つは、私の20歳の時の家業の倒産を通じた体験から自分の生き方の指針にしているもので永六輔の「生きているということは」という詩です

生きているということは

生きているということは 誰かに借りをつくること

生きているということは その借りを返していくこと

誰かに借りたら誰かに返そう

誰かにそうして貰ったように

誰かにそうしてあげよう

生きているということは誰かと手をつなぐこと

つないだ手のぬくもりを忘れないでいること

めぐり逢い 愛しい やがて別れの日

そのとき悔やまないように今日を明日を生きよう

人は一人では生きていけない

誰も一人では歩いていけない

以上が私の外見からは想像できないでしょうが私なりの「座右の銘」です。

新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048 (473)7041

FAX 048 (473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp